常磐毎日新聞

日刊

夕刊　五月十五日

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　福島縣石城郡平町長橋町三五　坂本忠治
發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京四〇二〇番

天氣豫報

今晩は北の風晴一時曇り
明日は北東の風晴一時曇

平消防組視察團の
自動車大破
涌井小頭重傷を負ふ
同乘の四名も各處に負傷す
東京から歸途植田で此奇禍

平消防組第三部自動車喞筒員一行十餘名は尼子自動車部のハイヤー二臺に分乘して東京方面を視察しての歸途十四日夜十一時頃植田町驛舍東部地內國道にさしかゝつた際後方のハイヤーが酔拂ひを避けんとしてハンドルをきり誤つて道路そばの溜池のコンクリート造り土手に激突、乘客助手臺に乘つて居た小頭十五丁目涌井乘作(六一)氏はあふりを喰つて頭部を前面の硝子戸に强突し頭部で硝子を破り顔面に大裂傷を負ひ直ちに同町上田醫院に擔ぎ込み手當中だが出血多量で重態である、尚同乘の消防手南町鹽源太郎(三七)鍛冶町卜部久吉(三四)南町齋藤光正(三三)同町藥谷延男(二八)の四君は何れも顔面、頭部その他に打撲傷を負つたが幸ひ輕傷で同夜急を聞いて走せつけた迎への人達と共に汽車で歸平した

横濱署の調べに
運轉手睡り不足
自分の負傷を秘し
甲斐々々しく活動

崇る番號札

遭難自動車は平町尼子自動車部で購入した許りの新車でバツクナンバー札は正式のものでなく木札の假札を下げてゐたのを今回の視察旅行で十三日横濱署にとがめられ自動車違反で平署に照會される等夜半十二時近くまでかゝり豫定の視察地横須賀行きを中止する事になつたゝめ皆本運轉手は睡眠不足に加へて氣を腐らして居た事なども奇禍を招く因となされて居り同運轉手は自分も胸部をハンドルに强打して負傷してゐながら深く責任を感じて負傷をかくし乘客の心配をする等の美しい行動を取つたので感心されてゐる

別な車に乘つて
難を免れた
涌井小頭の實子

に養子となつた平商出身の常備消防自動車運轉手鈴木勇作(三〇)氏も前記視察團の一行に加はつてゐたが俗に「親子連れの旅行は同船又は同乘するものでない」と云ふ言ひ傳ひがあるとて親父の涌井氏とは別なハイヤーに乘り込みこの難をまぬがれ不幸中の幸ひとされてゐる

氣丈な涌井小頭
消防生活卅餘年
右から左の耳へかけて
下齒脱落の大裂傷

奇禍を蒙つた涌井乘作氏は激突と同時に前面の部厚な硝子で右耳から左耳へかけてアゴをやられ殆ど下齒が脱落する重傷を負ひ車內に一時昏倒したが間もなく同乘した輕傷の部員に介抱され『なァに大したことは無い』と徒歩で病院にゆき手當を受けた程の氣丈さで目下絶對安靜との事に植田町上田醫院の一室に横はつて居る、因に氏は本業左官職の傍ら消防を拜命して以來三十有餘年の永きに亘り職務に熱心で表彰を受けた事も數回あり部下組員の面倒も好く好評の人で不慮の奇禍を氣の毒がられてゐる

郡下女教員總會
女子師範校長を迎へて
廿三日平第二校に

郡下小學校女教員の總會は來る二十三日午前九時から平第二校講堂に開き今年度の事業其他を協議するが當日は前田本縣女子師範學校長の講演がある筈

無免許周旋

小名濱町字下町五〇天狹羅屋齋藤慶治(五五)は無免許で昨年十月から十二月迄の間双葉郡大野村大字下野上紺野ケイ子(一八)外七名を愛知縣方面に子守、女工等に周旋謝禮金として九十餘圓を受取つた事發覺今十五日平區から營利職業紹介事業取締規則違反として略式罰金六十圓に處された

第一校大勝

平第一對第二の職員野球戰は昨十四日午後三時から第一球場に擧行六對二のスコアーで第一校大勝した

物價暴騰に
養蠶家が大脅威
多少の繭價高では
到底間に合はない

掃立中の郡下春蠶は今の處霜害もないので桑の發育もよく養蠶家は概して春蠶に期待をかけ掃立も前年より增加し繭價も昨年より高いとの望みを囑知らない物價の暴騰は勞力は勿論蠶具その他各種必要な購入品にしても昨年の今頃とは比較にならぬため多少の繭價高では收支償ふかどうかと何れゐないものはないやうである

煙草販賣高

平煙草專賣所管內四月中の販賣高は七萬二千七十八圓

豊間村議
當選者

豊間村議改選は十四日行つたが有効投票七百五十三票、棄權五十三票、當選者左の如し

八一鈴木猪之助　六六志賀重右エ門　六五鈴木市藏　六二馬目常吉　六一政井伊勢吉　六〇鈴木房次郎　五七山野邊茂五郎　五七遠藤專五六永山喜助　五四鈴木文十郎　五二馬田仙十郎　四一四家秀男　次點四一鈴木金五郎

古川氏が
再選らし
植田の町長

植田町長古川傳一氏は來る廿四日任期滿了するので近く後任町長の選擧町會を招集するが同町は政民の分野が八對八で民政派中には元町長の鶯滑昇氏を擔ぐ者あるも古川氏の力量手腕を信頼して民政派中にも同氏に贊意を表するものあり結局再選と見られて居る

體協幹事會

體育協會石城支部は今十五日午前十時から平第一校に幹部會を開き兒童競技會及び體操講習會開催の件に就いて協議した

磐崎教育會

磐崎村教育會總會は十四日午前十時から同村第一校に開き新舊會長の送迎會を

商友會館の建設
今度の總會で附議

平商友會は過般役員會を開き總會を來る二十三日午後二時から母校講堂に開會する事に決定、同總會は決算報告、豫算編成役員改選、商友會館建設其他數件を協議するが商友會館は會員が毎年積立る基本金が既に現在二千數百圓に及んで居るので今後五年乃至十年計劃で相當額に達するを待ち着工しやうといふにあり又役員改選は母校講堂建設資金の募集其他種々重大案件を控えてゐる折柄とて再選の空氣が濃厚であると

尚通常總會は今後毎年四月二十九日天長節佳節の當日午後一時から母校に於て開催する事に一定したい意嚮を有する者が多く多分來年からはさうなる模樣

商友會員諸君に告ぐ

謹啓新綠之候愈々御淸昌之段奉賀候

陳者來る二十三日午後二時より母校に於て第十九回定時總集會を開催　左記事項協議致度候間萬障繰合せ御出席被下度此段以本廣告通知狀に代へ謹告仕り候

◇協議事項

一、十一年度決算報告ノ件
一、十二年度豫算編成ノ件
一、會則改正ノ件
一、役員改選ノ件
一、元湯本支部長瀧川清身氏ニ對シ記念品贈呈ノ件其他

尚當日は總會終了後懇親會開催可致候

一、會場　平町住吉屋本店
一、會費　金貳圓也

福島縣平商業學校
商友會長　室橋光

祝酒の勢ひで
袋叩きの大喧嘩
殺されるの急報に
助太刀カッとなる

夏井村新田目農氏長男矢吹稔(二五)同村大越鶴沼子之松(三八)阿部正(三三)木田太平、木村繁次の五名は去月二十日夕刻矢吹方附近山林で同村農矢吹彌右衞門(四三)を下駄で毆打、全治三週間を要する傷害を與へ更に同所を通り合せた同村下大越星野竹義(三三)を滅茶々々に袋叩きにしたこと平署の探知するところとなり目下關係者を平署に引致取調べ中だが原因は被害者彌右衞門と犬猿の間柄にある稔の母トヨ(五四)が同日彌右衞門と些細なことから口論になつたのを通り合せた近所の鈴木ツギ(六〇)婆さんが『トヨさんが殺される』と告げたため折柄祭禮で祝酒を呑み交してゐた前記の五人が馳けつけ騷動になつたもの

軍艦巖島の
便乘資格
海事思想鼓吹

平町では軍艦巖島が本年度艦上簡閱點呼執行のため六月四日午後三時小名濱港に巡航するのを好機として例年の如く海事思想普及の目的を以つて便たが便乘希望者は（成るべく便乘無經驗の者たること）左記便乘者資格に依り資格及び氏名を來る二十五日まで町役場まで申出られたいと

市町村會各議員其の他に準ずるもの在鄉軍人會々員、陸海軍人及海軍々人家族（父母、妻子、兄弟に限る但し十五才以上たること）新聞、雜誌記者、學校敎職員、學生生徒（但し十五才以上）靑年團員少年團幹部員、軍人扶助團體員又は之に準ずる者

尚便乘豫定は便乘許可五十五名で六月五日午前八時小名濱港を出航午後三時宮城縣鹽釜港入港の筈

觀覽注意

別項、巡航する軍艦巖島の小名濱港に於ける艦內觀覽は大体五日午後零時半から同五時までの豫定天候不良又は風波荒き場合の外は許可さる筈である、觀覽に關する注意左の如くである

觀覽者は不體裁なる服装を爲さざること、不用持物（傘、杖等）は成るべく持參せざること其の他は必ず上草履を携帶のこと、艦內に於て寫眞を撮影せんとする場合は必ず當宿將校の許可を受くること天候その他の都合で軍艦の行動を變更することあり不健康者及び老幼者は危險に付き避くるを可とす

純益金で團服
女青資金造成好結果

既報平女子青年團の資金造成映畫會は約三百圓の利益を擧げたので近く役員會を開き處分方法に就て協議するが大體團服調製資金の一部に充てる豫定であると

睦合の見學

既報平區裁判所睦會は今十五日平發午前十時四十二分で帝都見學旅行に出發した、歸平は明十六日午後七時三十二分の豫定

勇士の遺骨
悲しい凱旋

滿洲新京陸軍病院で病死した伊藤部隊初年兵江名町出身の作山又一君の遺骨は十九日午後四時卅四分仙臺驛着列車に悲しくも原隊に凱旋するが廿日午前九時營庭で嚴かな慰靈祭擧行の筈

自轉車を連ねて
青年校生の行軍

平町青年學校生徒は既報の如く今十五日午前八時自轉車を連ねて校門を出發大津、平潟方面に行軍を試みた、參加者五十名

長倉坑落盤

磐崎村上湯長谷第二磐炭採炭夫渡邊益司(三四)は十四日夜八時半頃長倉第二坑で枠入作業中落盤のため背柱を骨折瀕死の重傷を負つた

泉校の增築

石城郡泉村にては工費四万圓で小學校一棟の增築及び役場の改築を五千圓で行ふ事に此程村會で決定

病妻が縊首

石城郡內鄕村字白水磐城炭礦坑夫小川雅の妻よし(三六)は病氣を苦にして十四日午後一時自宅で縊死

稅務主任會

本郡稅務主任會は來る廿、廿一の兩日平署會議室に開き廿日には稅務振興會も開くと

平町人事

回出生

△立町八五當時東京市淺草區橋場二丁目五ノ三橋源太郎氏四男幸平さん

KHOJ

今晩の部

▽後六、〇〇　子供の時間　幼兒へのお話「踏切ご
▽後六、二五　講演「日本文化の五十年間」HSヴエンライト
▽後八、〇〇　箏曲「松竹梅」松井今慶他
▽後八、二〇　講談「桃山の歌合せ」大島伯鶴
▽後八、四〇　獨唱　三浦環
▽後九、〇〇　常磐津「松廼羽衣當」磐津松尾太夫他
▽後九、三〇　時報　ニユース　明日の話題　氣象通報　番組豫告

明日の部

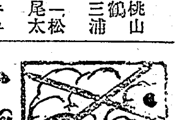
▽前九、〇〇　朝のレコード音樂
▽前九、三〇　子供の時間　日響解說付管絃樂
▽前一〇、〇〇　日曜勤行　京都天龍寺中繼
▽前一〇、四〇　講演「老莊思想と日本」武內義雄
▽前一一、一〇　講演「敎育の目的と方針」永海佐一郎
▽後〇、二〇　東京大學野球リーグ戰　早…立　慶…帝
▽後四、一〇　夏場所大相撲—國技館中繼
▽後六、〇〇　童謠と木琴獨奏　銀杏こども會　三上秀俊
▽後七、三〇　俚謠　小笠原すゑ　齋藤融他
▽後八、〇〇　マンドリンとギター　伊藤政次、高橋功
▽後八、二五　歌謠曲　東海林太郎
▽後八、四五　義太夫「堀川」竹本錣太夫

（難）（波）
內科一般
醫學博士　難波睦
看護婦募集
平町大町新川端　電話五〇二番

（醫）（院）
外科內臟外科
X光線科　院長　安齋徹
—新設—
產婦人科　醫學士　黑澤廣
▽入院隨意△
平町田町
安齋醫院　電話四七五番

開業
齒科一般
平町田町（安濟醫院向）
齋藤齒科
東京齒科醫學士　齋藤賢三

外科
專門　X光線科
上田外科醫院
平町南町　電話一一七番



白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
（西）布施長春畫
（東）村瀬春映畫

（[illegible]）

……一五一……
友情に生きて（二）

「水野氏。俺は日の本の蒼生として、德川家の臣下よりも[illegible]の君[illegible]の臣として仕へたかつた。好し俺は、[illegible]を[illegible]るにしたところで……しかし、こゝにすこし難しい[illegible]の上の悩みが絡つて縺つたのぢや」

と、五左衞門は[illegible]々したやうな[illegible]子で[illegible]なく口を開いた。

「ほう。悩みとは……？」

「それは此身に云つてもらん。しかし、俺が[illegible]をふみ入れた[illegible]からは離れやうかと、ふ」

「そりや好いことぢや。つまり貴公の口からそれを判然と聞きたかつたのぢや」

「旗本には歸らん。けれども、旗本仙石家からは脱する。それだけは御安心願ひたい」

と、五左衞門の聲は强く鋭かつた。

十郎左衞門はまだ不足らしい顔をして、五左衞門の面を凝視したが、[illegible]で膝を輕く叩きながら。

「なぜ旗本にかへるのは嫌ひなのか」

「德川の臣下としては俺は[illegible]かうとする道が開けない」

「何までも公儀政治に反さうと骨を折るつもりか」

「[illegible]の君樣の御代にしたい」

「ではやつぱり旗本仙石家を脱ける必要はあるまいが……？」

「いや。俺はまだ旗本仙石家の武臣を御承知ない。俺も默つて居つたが漸く判然いたしたから脱けるのぢや。俺等の企むことよりもまだ〳〵御柳澤政治の方がずんと悪なのだ」

十郎左衞門には、既に心が決まつた形で、よく五左衞門の云つてゐることが判らなかつた。で、政治上のことよりも、妻や兒の[illegible]から、つまり諫め手から五左衞門を攻めてやらうと考へた。

「[illegible]。では殆う難かしい議論はやめる。しかし、貴殿が[illegible]じる道をどこまでも眞直[illegible]の檻を用ゐて防がうと試みて來たので、豫期はしなかつたが、さて即座に夫に對する恰好の返し言葉が見出せなかつた。

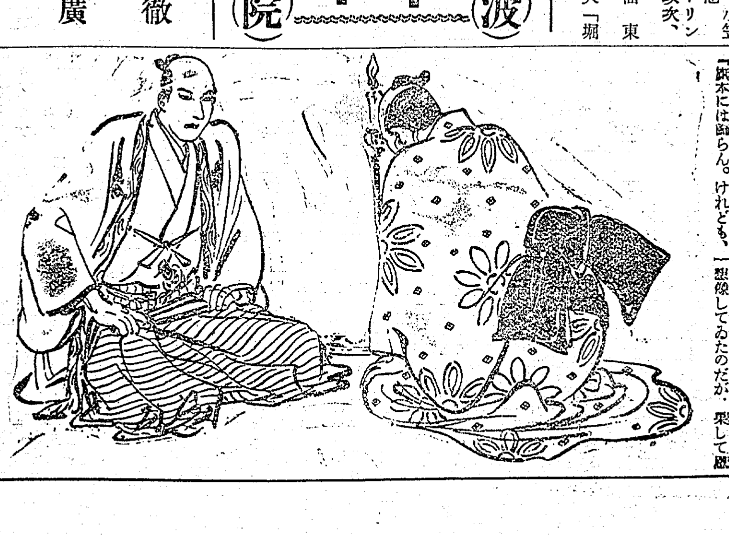
その稍狼狽へた樣子を明かに見てとつた十郎左衞門は、內心に喜びながらジリ〳〵と膝を摑寄せて來た。

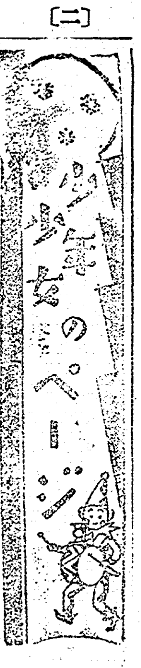
「貴公。[illegible]殿へ對して公儀代々の阿部豐後守から申しつけたことを存ぜぬだらうな。家を留守にいたして居るから[illegible]る由もあるまいが、今明日中に貴殿の所在が判然いたさんときは家祿返上の御沙汰がある筈ぢや」

「御身何人よりそれを……？」

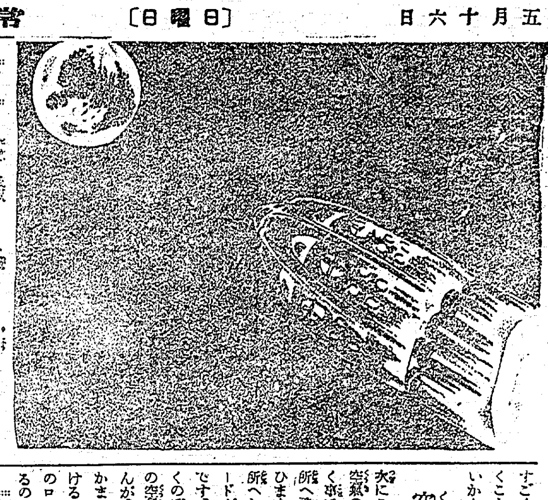
「お時殿が自ら手前の屋敷へ參られたのぢや。貴公。斯樣な狀態にありながら、やつぱり新しい道を拓かうとして、妻や兒を路頭に迷はせるつもりかな」

五左衞門はさすがに何とも云はずに溜息をついて瞑目いた。





ロケットとはどんな物でせう？
月の世界を探檢



月 の世界の探險——もしほんとうにそんな事が出來たらどんなに愉快な事でせうけれど、なにしろ月は地球から三十八萬四千四百十六キロもはなれてゐるのだといひますからそんな遠いところにある月の世界にゆく事などは夢のやうな話かも知れません、ところがこのごろ世界中のえらい學者たちが「ロケット」といふものを考へ出して、これで何とかして月の世界へ行つてみようと、一生懸命研究してゐます

此 のロケットのお話をしてみませう、近ごろヨーロッパではロケットの研究がさかんですが、日本でもこれを研究する人がだん〳〵出て來ました、このロケットといふのは、ガスが爆發する力をうまく利用して、とてもものすごいスピードで空をとんでゆくのですが、それは今の所で出來てゐて、形は大てい飛行機の爆彈みたいな形だとおもへばいゝのですが長さはせい〴〵二尺どまりくらゐの大きさのもので實驗してゐます

將 來もしほんとうにこのロケットで月の世界へ行けるやうになつたら人間が乘れたり食料やその他いろ〳〵なものをつみこむことのできる大きなものがこしらへられる事でせう、このロケットをとばせる爆發用のガスは今は火藥をはじめ水素だとか或は水を酸素と水素に分解してこれをもやす方法だとかいろ〳〵な方法がつかはれてゐます

ロ ケットの特長はものすごくはやいスピードでとんでゆくことですが、これはどんなに早いかと云へば外國ではかつたのによると[illegible]んでゆくといはれてゐます、一時間に六千二百キロ位飛んでゆくといはれてもどの位早いかちよつとわかりませんが、ほかのものとくらべるとはつきりします、いま世界で一番はやいスピードをもつた飛行機はイタリーにあるのですが、それでさへ一時間にたつた六百八十二キロしか飛べないのです

又 「音」といふものはとてもものすごい早さで空氣をつたはつてゆくのですが、それでも一時間に約一千三百三キロでロケットはそれよりも五倍もはやいといふからおどろくではありませんか

空氣のない所を飛べるロケット

次にこのロケットの面白い事は、空氣のない所でも平氣で飛んでゆく事で、飛行機などは空氣のない所へ飛んでゆくとすぐおちてしまひますが、ロケットは空氣のない所へとんでゆく程、かへつてスピードがましてはやくとんでゆくのです、だから飛行機はどんなに高くのぼつたとしても地球のまはりの空氣のある範圍より出られませんが、ロケットならそんな事はおかまひなしにどこへでもとんでゆけるのです、だから月の世界へこのロケットでゆかうと研究してゐるのです

け れどロケットで月の世界までゆくとすると、ロケットのあのものすごいスピードでも地球からは約二日半かゝりますし、爆發に使ふ藥の量だけでも數百トンのおもさになり、それに人間の居る部屋だとか、呼吸につかふ酸素だとか、食ものだとかも持つてゆかなければなりませんから、その重さは二千トン以上にもなり、將來はいつかは月へゆけるかもしれませんが今の處ではまだ〳〵月へゆく事は考へられません

こ れは皆さんのやうな子供たちがこれから研究してやらなくてはならない大きな〳〵仕事です、今ではロケットはまだ地球の上だけでさへ實用にもつかはれてゐない位で、わづかにドイツで郵便をはこぶのにこれを使つて實驗してゐるくらゐのものです、イギリスなどではドイツから技師を呼んでやつてみましたが、しくじつてしまつたと云ふ事ですし、アメリカではこれを利用したロケット飛行機といふものを、考へたんでありましたが、これもしくじつてしまひました

ま たドイツでは去年の夏、ロケット自動車といふものをこしらへましたが、これはどうや[illegible]はしましたが、あまりスピードがものすごくて今のやうな道ではすぐひつくりかへつてしまつて實用には使はれない事がわかつたといふ事です、こんな風にロケットはまだ〳〵ほんの赤ん坊です、皆さんの力でほんとうのロケットを考へ出し月の世界へ行つたりその他の星から星へと散歩したり出來るやうになりたいものですね

さかんに暴れ廻る
雷樣と稻妻の正體
雲に含まれた電氣の作用です

これから夏になつて雷樣と稻妻がさかんにあばれ廻るときです、ピカツピカツ、ゴロ〳〵〳〵……そら雷樣だ、稻妻だいまゝでたのしくあそんでゐた皆さんもおヘソをかゝへて家の中に逃げ込んできますね、雷樣と稻妻はこんなに嫌はれ者ですが、また所によつては、「いなづま樣は稻にお乳を飲ませにくるのだ」などゝもいはれてゐます、けふはこの雷樣と稻妻のお話をいたしませう

稻妻の種類

ピカツピカツと光つてはサツトきえてしまふいなづまには次のやうな三つの種類があります

（一）まるいボール型のいなづま これはごく稀でその働きはまた神祕的のものです

（二）叉狀のいなづま、はげしい雷鳴のときよく見え、するどく曲りくねつて見えるものです、皆さんがよく識くいなづまの殆どはこのいなづまの形なのです

（三）一面にシートを擴げたやうに光るいなづま、これはまた夏のいなづまともいはれるもので全然雷鳴が聞こえず、丁度巨大なランプが空中にういてゐる雲を照らしつけるやうに光ります

このいなづまは五十マイル以上も遠方に雷雨があつた場合、又は夏のいなづまが雲の上にうつゝたものです

稻妻の速力

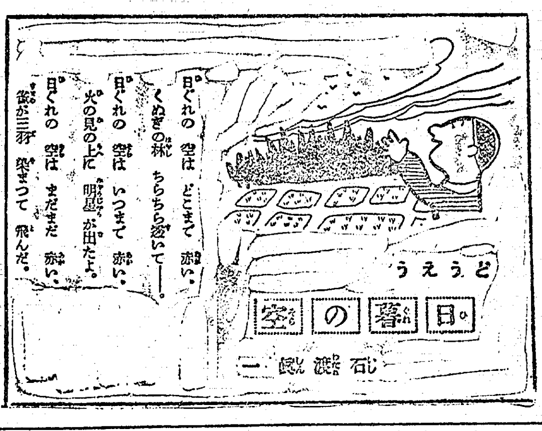
ではこのいなづまの速力はどの位でせうか、一秒間に十八萬六千マイルといふすばらしいスピードです、しかしゴロ〳〵……ととどろく雷の方は一秒間僅千百フイト位のものです、その結果、皆さんはピカツと光つたいなづまを見てからしばらくたつて、雷鳴を聞くわけです、それでいなづまを見てから雷鳴を聞くまでの秒數をしらべれば、どの邊にいなづまが起きたのかもわかるわけです、又いなづまの光りは往々五マイルもの長さにわたることがあり、其力（電力）はまた非常に大きく、一時間五十マイルのスピードで二百トンもある重い汽車を引つ張つて光る事が出來ます

なぜ起るか

そして[illegible]いなづまやごろ〳〵といふめいめいはどうしておこるのでせうか——雲にふくまれてゐる電氣の作用なのです、皆さんの頭上をフワリ〳〵と飛んでゐる雲には大てい多少の電氣をふくんでゐます、これらの雲を形づくつてゐる小さい水蒸氣のかたまりが寄りあつまつてさらに大きいかたまりになるとき、電氣の力もさらに大きくなつてゆきます、そしてこの電氣の力が大きくなり、反對の電氣をふくんだ雲と同じ位の電氣を持つやうになると、こゝにいなづまがおこるのです、このいなづまは雲と雲の間を通つたり、あるひは雲と大地の間を通るのですが、その道はなるべくてい抗の少い所をえらんでゆくので、曲折した波狀になるのだといはれます、その時一分以上もごろ〳〵といふ雷鳴が聞こえて來ます、そのわけは——いなづまは途中の空氣を燃く程強い早い勢ひで打ちつゞけながら、ものすごいスピードで空中を追つて行きます、そのため空氣が急にぼう張し、急に眞空の部分が空中に出來てきます、この眞空の部分をうづめようとして空氣が四方八方からおしよせてきます、この際、大きい音を發しごろ〳〵と耳にひゞいてくるのです、この音もいなづまが短くまつすぐな時はかんたんなものですが、まがりくねつた長い時はつゞけさまに次から次へと聞こえてきます

雷の害と利益

かみなりはまた建ものや樹木にどしんと落ちて人の命をうばつたり傷づけたりする事があります、それで昔はかみなりは恐ろしい天の神樣だと考へてゐたわけです、しかし最近はこの恐ろしい落らいを避ける研究も發達して、昔のやうな「恐ろしさ」をのぞき得るやうになつてきてゐます、[illegible]かみなりも次のやうな利益を持つてゐます、即ちオゾンとか酸化窒素などをつくる作用を持ち、色々のしよく物に養分をあたへるので、又らいめいは害蟲を殺すとさへいはれ、かみなりの多い年は豐年だと昔からいはれてゐます、それからあの雄々しいらい雨がすぎ去つた後の[illegible]な涼しさ！

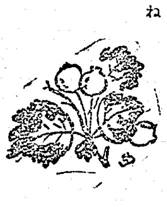


どうえう

日暮の空

石渡晨一

日ぐれの 空は どこまで 赤い。
くぬぎの林 ちらちら燃いて——。
日ぐれの 空は いつまで 赤い。
火の見の上に 明星が出たよ。
日ぐれの 空は まだまだ 赤い。
鳥が三羽 染まつて 飛んだ。



いそつぷ物語

わしにさらはれた小狐

しづかな森のなかで、一びきの母狐が子ぎつねをそだてながら、平和にくらしてゐました、ある日の事、わしが高い峰から、はねの音もあら〳〵しく飛んできたが母狐のるすの間に子狐をつかんで行つてしまひました

かわ いゝ〳〵子供をとられた母狐は死ぬ程なげき、かなしみましたが「あのわしにだつて[illegible]い、子供をなくする事がどんなつらい事か、今に思ひ知らせてやるぞ」と

峯の うへのわしの巢を見あげてさういひましたが、そして巢の下の方へ走つてゆきました、それからそこらの枝をたく〳〵さんあつめて來て火をつけました、赤いほのほを吐いて黑烟は見る〳〵うちにわしの巢をつゝんでしまひ、巢の中に親鳥のかへりを待つてゐたひなわしは巢が燒けるとかわいさうにころげおちて死んでしまひました

遠く 空からその煙をみて飛んでかへつた親わしは、黑こげになつた巢のまはりを飛びまはつてひな鳥の行方をさがしながらいつまでも〳〵かなしさうに泣きつゞけてゐたといひます

熊のお話

皆さんは右の手でごはんをたべたり、お習字をしたり、お仕事をしたりします、もし左の手でやる人があると左利きとか左ぎつちよとかいつてわらひますが、熊は皆左ぎゝです

◇**熊は** 身體の重みを右の前足でさゝへて、左で仕事をします、熊のお母さんは人間の子供のやうにいやがる子供をだまし、すかして水たまりに連れこみ、身體中を左の手でごし〳〵押こすつてやります、その時眼や耳は特に念入りにあらつてやります、熊は皆いたちがきらひです、それはいたちがこわいのではなくいたちの最後ペツといつてくさい〳〵おならをだすから、それにまゐるのだらうといはれてゐます

◇**また** ヤマアラシにも近づかないやうにしてゐます、これはあの大きな針でチク〳〵さゝれるのがいたいからでせう、熊はまたおさかなを取るのが上手ですが、サケなんかをとると、鰓や何かにぬいてかついで行きますが、後のおさかながぬけておちるのを知りません、あとから人がそれをひろつてゆくさうです

小供滑稽和歌

○汽車ごつこ途中で繩がきれたので汽車のパンクと大さわぎ
○ぬかるみにころんで包投げ出せど、菓子持つ右手は上げてをるなり
○水藥きざみのとこへ指をあてニラみつけてはのんでゐるなり
○屋根を猫のまねして降りかゝり泣くに泣かれぬ立往生

物識り

ないくづくし

◎ないくづくしは際限ない
バナナの實の中種がない
コウモリとんでも鳥ではない
くぢらは獸で手足がない
惡い子いぢめは見つともない
眞空中には空氣がない
犬は夏でも汗かゝない
ホタルの光にや熱がない
闇夜の黑ン坊目につかない
みがかぬ玉は光りがない
猫に小判はわからない
貧乏不自由常ではない
[illegible]

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）
[illegible]（畫）

三一……

眞か僞か（一）

「事によつたら東北地方から北海道方面へ旅行されるかわかりません。さうなると、今年一杯はお歸りでないかも知れませんよ」

と、まことに、のんびりした返事だ。

「私用と言つても、其の都度、社の方へ通信があるのぢやないですか」

「そんな事は、解りません」

「若しや、クーパー博士と御一緒ぢやないですか」

すると、受付はあはてゝ、

「いや、とんでもない……クーパー博士は、昨日横濱をお立ちになつて、今は太平洋上にあります」

「では、ウイルスン氏も、太平洋の眞ン中ぢやないですかな」

栗飯原はニヤリと笑つて見せた。受付の男は、不思議さうに栗飯原を見て

「貴郎は、妙なこと許り訊かれますね、貴郎は一體、ウイルスンさんと、どのやうな關係なんですか」

と、言つた。栗飯原は笑つて、

「なアに、ウイルスン氏の仕事を手傳つたことのある人間ですよ。何うも、ふだんからの口吻では、ウイルスン氏は、何うやら、太平洋上らしいですね」

併し、さういつたものゝ、栗飯原は、こんな受付の男を追究してみたところで、本物のクーパー博士が、ミネソタ丸で歸國したか或は日本に隱れてゐる事の眞相が判明る筈はない……と思つたので

「いや、お邪魔いたしました。いづれウイルスン氏が歸國された頃を見計らつて、お訪ねしませう」

と、其のまゝ行きかけると、受付の男は

「いや、當分はまだ、歸國されませんよ」

と、駄目をおした。栗飯原は、それを聞き流して戸外へ飛出した

「兎に角、ウイルスンといふ奴の行動も怪しいぞ、あいつの足取を追うてみると、自然知れる譯だが……」

彼は、間も無く、同じ丸ノ内山下町の帝國ホテルの西隣にある、古い由緒のあるなまこ塀の門の内へ一歩足を踏み入れた。

それは、元の華族會館であつた。今は何々生命保險會社の敷地となり、白亞の事務所が門内の左手に建つてゐるが、右手の芝生の中に古ぼけた華族會館の建物が古色を帶びて立腐れるに任してある。

それは又、明治文化の發祥地鹿鳴館の建物でもあつた。鹿鳴館から華族會館となり、今は時代に取殘されて殘骸を夕陽に曝してゐる。

栗飯原は、今の古ぼけた建物に歷史的回顧の涙を誘れやうと言ふのではなく、此の都會の眞ン中に古色蒼然たる建物のほとりで、つまり喧騒たる都會のオアシスで、崩れかけた直感力を盛返さうと云ふのであつた。

彼は、昔[illegible]が、愛を私語いたであらう鹿鳴館の古い建物の窓邊の下に立つて、靜かに[illegible]てくる瞑想を盛つた。

栗飯原は、次の日、横濱に現はれた。

昔の英五番館の跡の、例の[illegible]會社の玄關先に立つてゐた。昨日明治時代を偲ぶ鹿鳴館で、衰へかけた直感力を盛返さうとしたやうに、これも、華麗しい英五番館に昔を偲ばうと云ふのではない。

彼は最う、感傷的な意志が充實してゐるので、其の必要はなく、勇敢に[illegible]會社の玄關先を入つて行つた。

受付口で、いきなり

「ウイルスン氏にお目にかゝりたい」

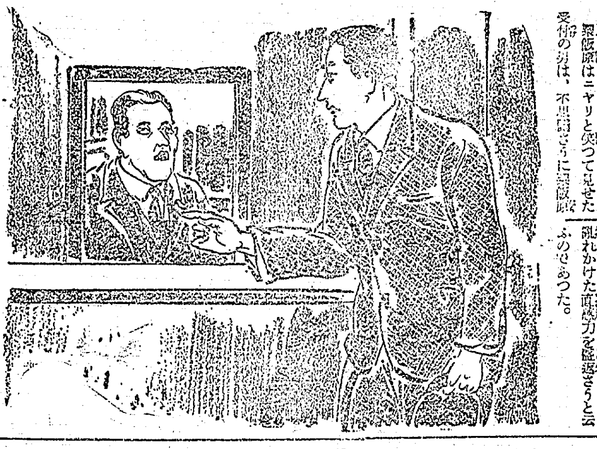
と、單刀直入、切込んでみた。

「ウイルスン？……」

受付の男は、老ぼれた外人だ。口をもぐ〳〵やりながら、けゞんさうに栗飯原の顏を見た。

「こちらへ、ウイルスン氏が來てゐられる筈だが……」

「いや、それはちがひませう、あの方は一昨日アメリカへ出立されたはずです」

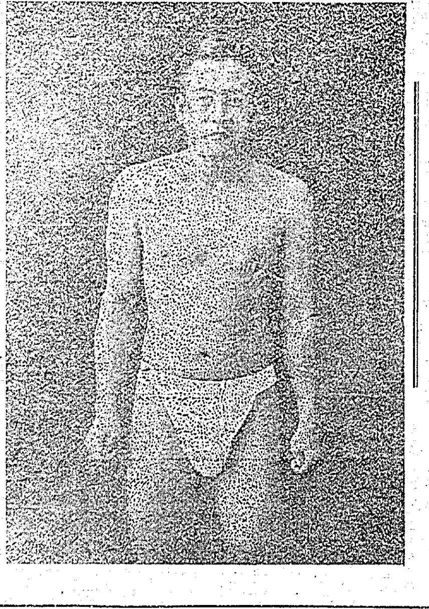


セメントは常陸
御用は！大谷建材店
平紺屋町（電三六六番）

大ドライヤーを備へつけました
『皆々樣の化粧院』として常に御贔屓に預ります平驛前水野化粧院は昨年オゾン器を備へつけまして御滿足を受けましたが、更に此の度パーマネントセット、洗髮、染毛用として『ドライヤー』を設備致しました。ドライヤーを御使用になればパーマネントセットも、洗髮も十分間以内に又どんな白、赤毛でも五分間とかゝらないうちに物の見事に仕上ります。スピードをお好みの今日どうぞ御利用下さいませ。
尚春のフエツシヤールマツサーヂ（美顏術）にはオゾン利用が第一で御座いますから、海に、山に、或は遠く御旅行なさる時、或は御歸りの際は是非御顏の御手當に『水野』へ御立寄り下さる事をお待ち申しおります。
平驛前
水野化粧院
主 水野冬子
電話 營業所 六七八番 自宅 五二五番

食事 喫茶 酒場を兼ねた
レストラン サロン
平田町 電二五三

新案特許第一二三三一五五號
保健サルマタ
運動に!!! 活動に!!! 最も輕快!!!
七大特長
一、胃腸健康增進効果
一、保健腹帶兼用
一、体裁ノ最優美
一、穿心地ノ輕快
一、耐久力ノ豐富
一、洗濯簡單
一、價格ノ至廉
—定價—
特大 大 0.30
中小 0.28
◎當地有名洋品店に有



吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

春物は
是非！
當店から
（在庫豐富）

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

御贈答に……
美味
鰹節
鰹盬から
干やなぎ
魚問屋
志賀盛榮商店
（平町四丁目 電話二一三番）

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町一六（電話一七〇番）

◎評判の美味しい「みつ豆」始めました
蜂蜜入 フルーツみつ豆
東京風 アンみつ豆
電28 福壽軒

產科婦人科專門
平町南町五二
根本醫院
（手術室完備）（入院隨時）
根本莊次郎
根本貞雄
電話三十四番